

(1面下段より)

南口にも設置予定。②まず駅前設置し商店街等はその後研究していく。③子ども

の安全を考慮検討していく。質問 道路維持管理経費について、①道路ストック集中点検の対象物は、②道路の改修や補修等に国や都の補助金の活用ができないか。また、基金をつくる考えは。

答弁 ①橋梁、横断歩道1級路線の市道など。②都の市町村土木費補助金のほか、市町村総合交付金を財源に充てている場合もある。基金については、財政調整基金で一定の対応が図れると考えるが、補修に特化した基金も今後研究していく。

質問 法人市民税が徐々に増収しているが、平成28年度当初予算への影響は。答弁 税率引き下げの影響が出るため、26年度の決算額は今後の予算策定上の指標となる。質問 蛍光灯の裏側の安定器をハイブリッド安定器に変えることでLEDと同等以上に長持ちするが、公共施設に導入する考えは。

答弁 メリット、デメリットや他市の取り組み状況も踏まえ、検討していく。質問 多摩川は護岸工事など一定の整備がされているが、増水や小河内ダムが異常の場合など、用水の支線に流れ、周辺住民や家屋などに重大な影響を及ぼすことも考えられる。目的を持って積み立てをし、護岸整備やU字溝整備の財源に充てる考えは。

答弁 用水土地改良区における用水管理は人手が減り

厳しい状況があるのは認識している。また、治水という観点からも、今後の対応策を検討していく。質問 決算審査意見書において、①「中長期的な視点に立った健全な財政運営に努め」とあるが、財政運営をどのように積極的に推進するのか。②国民健康保険で「更なる収納率の向上に努め」とあるが、所見は。

質問 厳しい状況があるのは認識している。また、治水という観点からも、今後の対応策を検討していく。

質問 決算審査意見書において、①「中長期的な視点に立った健全な財政運営に努め」とあるが、財政運営をどのように積極的に推進するのか。②国民健康保険で「更なる収納率の向上に努め」とあるが、所見は。

答弁 ①財源を確保し、時代の変化に対応した事務事業の見直しを図り、基金残高と市債借入金バランスに留意した財政運営を行う。②納税している方との公平・公正を保つため、収納率の更なる向上に努める。

公明党昭島市議団

質問 松原町コミュニティセンターについて、①これまでの葬儀の利用状況は。②一般利用の予約時に葬儀が入った場合は、葬儀優先のことだが、実際そのようないかなるケースがあったのか。答弁 ①昨年10月の開設以降で26件。②昨年度該当するケースはなかった。質問 拜島公園プールが廃止されたが、①今後かかる維持費はどのくらいか。②跡地利用について、市として何か検討しているのか。答弁 ①光熱水費など建物自体の維持費はかからないが、除草費用として6万円程度を予算計上している。②現時点では未定であるが、公共施設等総合管理計画を策定していく中で総合的に検討していきたい。

みらいネットワーク

質問 公園のトイレについて、①清掃の間隔は。②つじが丘公園の汚水管が詰まっている。修理が必要ではないか。③防災の観点から多摩川河川敷におがくずトイレの設置をすべき。

答弁 ①清掃を週2回、消毒・殺虫を月2回以上している。②実態を見て必要があれば修理する。③京浜河川事務所等と調整しながら、設置が可能な研究していく。

質問 DVカードを公共施設の男性トイレにも設置を。答弁 数か所設置しているが、拡充等を検討していく。

質問 防災について、①備蓄食料は何人が整備されているのか。②洪水ハザードマップの周知啓発を。③災害時、避難物資搬送の提携企業等は優先的に主要道路を通行できるのか。④バイクレスキューとも提携を。答弁 ①平成26年度末で2万400人分。②ホームページ等で公表している。また、機会あるごとに周知を図っていく。③緊急通行車両の届け出済証を優先的に出してもらおう等、警察と連携を図っていく。④機動力という部分で効果が期待できる。協定等を検討していく。

質問 昭島ブランド・フリードグランプリについて、店舗を持たない方でも出店できる等、創業支援の観点から取り組む考えは。

答弁 希望があれば個別に話を伺い、実行委員会にも意見をもらう等、研究・検討していきたい。

質問 希望があれば個別に話を伺い、実行委員会にも意見をもらう等、研究・検討していきたい。

質問 電話交換業務委託に方などを定めている。今後について、①業務に従事している方の賃金が、最低賃金を割らないのか。②最低賃金を考慮していくべき。

答弁 ①最低賃金に関する法律や約款を守ることになって、今後の健全化の考えは。調査した中で判断していく。

質問 図書館について、①図書資格を持った人は何人を残さない運営を行う。②公共図書館の使命は。質問 製造業の売上金額が全国でも上位を占めるなど、市内企業の努力と貢献は非常に大きい。市の考えは。

答弁 ①27年度は、職員2名、再任用職員1名、嘱託の改善が期待されることか。職員5名、臨時職員3名の合計11名。②市民の地域づくりを支援するの拠点と。質問 マイナンバー制度の導入の考え方。③社会教育複合施設システムの開発経費は、国の100%負担を強く要すべき。

答弁 今後市長会を通じて機能の運営の基本的なあり方を要望・要請を続けていく。

無党派

本会議において賛否の分かれたもの ○は賛成 ×は反対

Table with 5 columns: 採決の結果, 無党派(1), 日本共産党昭島市議団(3), みらいネットワーク(5), 公明党昭島市議団(5), 自由民主党昭島市議団(7). Rows include 平成26年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について, 平成26年度昭島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について, 平成26年度昭島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について.

討論 平成26年度歳入歳出決算を認定とする委員長報告

二般会計、「国民健康保険特別会計」及び「後期高齢者医療特別会計」について、本会議の採決に先立ち、それぞれ討論が行われました。

一般会計 反対 荒井 啓行 議員 地方自治体による暮らし応援の施策が必要である。本決算は2年連続で繰越防波堤の役割を果たすべき額が10億円超と、基金積み立てを最優先し市民生活を守るという積極的な施策の実施は見られない。昨年4月から消費税が8%に増税され、そのもとで決算に反対する。

賛成 自由民主党昭島市議団 白井 伸介 議員 半期に入り、今後の大規模事業や予測できない自然災害への対応には財源の確保が何にも増して求められる。昭島市に住んでよかった。法人市民税の大幅増など、昭島市に住んでよかった。歳入は増となったが、臨時事業をしてよかった。また、財政対策債等による財源補てんをせざるを得ない。大今後も大切にしていきたい人を変えたい。財政運営であった。づくりを更に進めることを第五次総合基本計画の後期待し、本決算に賛成する。

賛成 公明党昭島市議団 渡辺 純也 議員 定こども園の開園、拜島駅南口自転車等駐車場の開設等、市民から寄せられ一般質問や委員会でも訴えたこと。厳しい財政状況の中、市が多くの実現され評価したい。税徴収率の前年度比0.5ポイント増や、自主財源以外に化に努め、住み続けたいまも国都補助金など歳入の確ち、任んでみたいまち昭島に様々な工夫が見られた。の構築に向け、たゆまぬ努力各種検診事業の推進や認力を願い本決算に賛成する。

反対 日本共産党昭島市議団 佐藤 文字 議員 現在の昭島市の国保運営は、一般会計からの繰入金をいかに減らしていくかに

国民健康保険特別会計